



**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジェンダーに基づく暴力による女性被害者及びサバイバーのための長期滞在
型シェルター整備計画」
引渡式**

2021年8月19日、セント・アンドリュース県ウーマン・インク「長期滞在型シェルター」において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ジェンダーに基づく暴力による女性被害者及びサバイバーのための長期滞在型シェルター整備計画」の引渡式が実施されました。

在ジャマイカ日本国大使館を代表して、大島一等書記官兼経済協力班長は挨拶の中で、日本は女性のエンパワメントを重視しており、ジャマイカにおけるジェンダーに基づく暴力による被害女性及びサバイバーの女性に対し、本計画を通じて、安全で自立を目指す環境を提供できることを嬉しく思うと述べました。

本事業は、ウーマン・インクが所有する建物を改修し、暴力による被害女性が自立のための職業訓練を受けることができる長期滞在型シェルターを整備することを目的としています。本件実施により、ジェンダーに基づく暴力の被害女性やサバイバーの女性が安全な環境で長期間暮らしながら、自立までの職業訓練を含む支援が受けられるようになります。

今般の引渡式には、ジャマイカ文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ省を代表してタミカ・ピアート国家シェルター事業部長、ジョイス・ヒュエット事務局長等のウーマン・インク関係者、報道関係者などが出席しました。出席した関係者から今後の職業訓練を兼ねた長期滞在型シェルターの有効活用に向けた期待が表明されました。



1. 大島経済協力班長による挨拶



2. 参列者及び式典風景



3. 内見の様子

大島経済協力班長（左）、ヒュエット事務局長（右）



4. リボンカット

大島経済協力班長（左）、スチュワート、ウーマン・インク理事長（中央）、ピアート国家シェルター事業部長（右）